

【 学校運営 】

No	質問	回答
1	運動場が狭くなるとのことだが、小学校の体育の授業は問題なく実施できるよう配慮されるのか。	小学校の体育授業は中学校側運動場を使用する他、屋上運動場も使用するなどして展開していく考えです。2クラス合同での授業も検討し、これらの対応をとることで問題なく体育授業が展開できると考えています。
2	運動場が狭くなってしまうが、運動会など運動場をメインに使用する学校行事はどのように実施するのか。	これまで同様、運動会は中学校側運動場を使用する予定です。運動場が狭くなることで制約が生じてしまう可能性はありますが、さまざまな工夫をすることで対応していきます。
3	仮設増築棟を整備することで運動場が使えなくなり、中学生の部活動に制限が出ることに懸念がある。	それぞれの部活動の活動内容にもよりますが、代替運動場での活動も想定しています。
4	運動場が狭くなることで子どもたちの遊び場が減ると思うが、具体的な対策は考えているのか。	現在でも中休み・昼休み等は運動場で遊ぶ学年、体育館で遊ぶ学年、教室で遊ぶ学年と分けて運営しています。代替運動場が整備された後も、このような運用方法を想定しています。現在は小学校と中学校とで時程がずれていることで、中学校の体育授業が小学校の中休みと重なったりすると小学生が十分に運動場で遊べないというケースもありますが、代替運動場が整備されたのちには解消できるものと考えています。
5	必要な教員は確保できるのか。	教員の確保は東京都教育委員会が実施しています。学級数に対してそれに応じた定数の教員が配置される仕組みになっているので、不足なく配置できるものと考えています。
6	晴海西小学校と晴海西中学校を取り巻く環境は変化が激しいと思うが、今後の学校運営について将来的なビジョンはあるのか。	現在、若手の教員を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、授業スタイルなどこれまで当たり前だったことを見直し、児童にとってより良い教育環境を考える場を作っています。第二校舎の開設によって小学校が分かれたり、仮設増築棟ができたりと変化の激しい状況の中で、晴海西小学校ならではの教育活動を若手教員の新しい発想と考えるなかで議論し、実践していきたいと考えています。